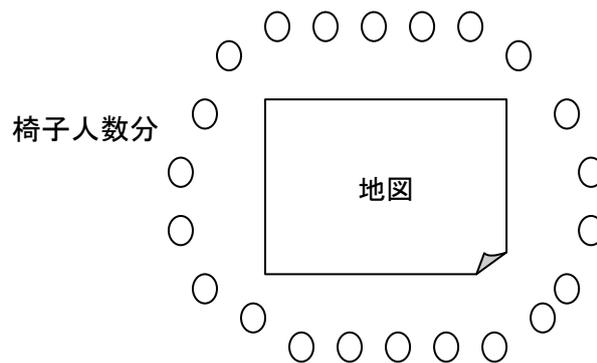


アイスブレイク実施例 1

- ◆ 参加者 : 研究者・大学院生研修 4 ヶ月コース、23 名。参加者の出身国 18 ヶ国。
(日本語レベルは初級修了程度～日本語能力試験 1 級合格者まで様々。)
コース担当教師(関西国際センター日本語教育専門員)4 名
- ◆ 日時 : 来日後 2 日目 9:00～9:40
- ◆ 準備物 : 大きめの世界地図、シール、名札用シール、ストップウォッチ
- ◆ 設営

机を端に寄せ、中心を空けて世界地図を床上に置く。いすを人数分、円形に並べておく。



◆ 活動の流れ

導入 10 分

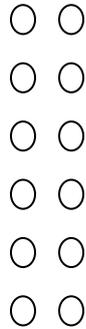
- (1) 来た人から世界地図の出身地部分にシールを貼っていく。名前を A4 三つ折カードに書く。
- (2) 一番早く(日本へ)来た人、一番遠くから来た人、一番近い人に質問する。
自己紹介もしてもらう。
- (3) アイスブレイクの目的を説明する。「来日後 2 日目、今、何人覚えてる?」か、確認。
- (4) ジャンケンになれていれば、ジャンケンをして、勝ったら、相手のネームシートをもらう。
相手の名前を覚える。
- (5) フルーツバスケット(席交換ゲーム): 条件に合う人が立つ。

練習 : ①女の人 ②スポーツが好きな人 ③音楽が好きな人

④「日本ははじめて」という人 → 近くの人に日本滞在経験を聞く。

中盤 10分

(1) 1列に並び、順に1.2.1.2.と数え、2列に並ぶ。いすを持って移動。



(2) 「はい、いは」ゲーム(交互に手の甲を重ね、「はい」のときは一番上の手を一番下に、「いは」のときは一番下の手を上に重ねる。) 2人からスタート、4人へ。

(3) ミリング自己紹介 1分 Q&A

向かいの人に、趣味・専門、家族、日本語をはじめたきっかけなど、テーマに沿って自己紹介、相手に質問。1分たったら右列の人は前の席に移り、新しい相手と再び自己紹介。テーマも変更する。ストップウォッチで時間の終了を知らせる。

終盤 10分

(1) 一連の輪にもどる。何人名前を覚えたかカウントする。「全員覚えた人」からカウントダウン。

(2) 1234と順に番号をふって、4グループに分ける。(椅子は無し)

(3) グループ内で名前と国名、専門を自己紹介。

(4) グループ内で指示されたテーマにあった順に並び替える。グループ間で速さを競う。

練習として名前のアイウエオ順。正しく並んだかどうかみんなで確認。

① 国名のアイウエオ順、②誕生日順(研修期間内に誕生日がある人を確認する)

③ 日本までかかった時間順、④家族の人数順、⑤日本語の勉強を開始後の長さ順

(5) 最後に全員で一連の輪を名前順で作る。